

## ブラジル日記

CDC 神戸本社の田中です。

2008年12月に3週間程、ブラジルに行ってきました。ブラジル内陸部の貧困地帯であるセラード地域の4つの国立公園を四輪駆動車で巡る調査でした。12月は雨期に入ったばかりで、首都のブラジリアをはじめセラード地域は、標高が少し高く、日中でも寒かったです。日本から着ていったセーターを引っ張り出して寒さをしのいでいました。お陰でブラジル風邪を引き込み、日本への帰国後、えらい目にあいました（苦笑）。

以下、ブラジルのあちこちで撮った写真をご紹介します。



ブラジルの首都ブラジリアの街をテレビ塔の上から眺めたところ。道路が左右対称になっています。都市計画専門家いわくブラジリアは、都市計画で有名な街とのこと。

次の写真は、ブラジルの食事。バイキングスタイルで、自分の好きな料理を選べ、最後に重さを計って料金を払います。シーフードは少なかったですが、肉、野菜、サラダ、フェジョン豆などなど、味はちょっと濃い目ですが、ブラジル料理はうまい！



食事が終わったら、コーヒーは飲み放題、上の写真にある左端の樽は、お酒。コップ1杯50円くらいだったような。。。ブラジルのお酒と言えば、サトウキビの焼酎にライムを入れて飲む「カイピリーニャ」が有名。うまいです。



ジャラポン国立公園内で観光客が多く集まる「湧水の泉」。泉の底から水が湧き出て、体が浮遊状態になるそうです。国立公園が設置される前から住んでいた地域住民が現在も公園内に住んでおり、その住民が観光スポットを管理して観光客から入泉料を取っています。



ブラジルの国立公園内の風景。。。大自然の広がる広大な国です。



国立公園内のセラード植生。山火事が多いため、幹の樹皮が厚く、葉っぱも厚みがあって硬い植物が多いです。



国立公園の近くに迫る大農の大豆畑です。道路を挟んで右側が、大豆畑、左側が国立公園の敷地へと続くバッファゾーンの保護区。違法伐採、違法侵入などで大豆畑を拡大する大農も多いとのこと。開発と自然保護が両立するいい方策はないのでしょうか。。。

以上、取りとめもないブラジル報告でしたが、ブラジル人は、明るくてフレンドリーな楽しい人たちです。リオのカーニバルは、2月なのでサンバの雰囲気ではなかったのが、残念・・・。

田中里美